

2016年5月23日

株式会社タイムドメインラボ

性能美、たたずむ
タイムドメインスピーカーシステム
i-SIDE

株式会社タイムドメインラボは、アルミ削り出しボディーを採用したタイムドメインスピーカーシステム i-SIDE（アイサイド）SQ-13 を6月1日より発売します。

i-SIDE SQ-13 はリキュールのパッケージからインスピレーションを得たデザインのスピーカーと、機能的なアンプとを「物質（モノ）」の価値を損なうことのないよう、それぞれひとつあたりのアルミブロックから削り出したスピーカーシステムです。

タイムドメイン理論の本質を原理原則に立ち返って再考察し、デザイン性も併せて構築する（タイムドメインコンセプト）。これにより、音質だけでなく、性能の持つ美しさをも表現できるようになりました。

i-SIDE SQ-13 はアンプと2本のスピーカーとで構成され、スピーカーの角が丸まったデザインの i-SIDE SQ-13 TypeR、角張った i-SIDE SQ-13 TypeS の2シリーズを用意しました。価格はいずれも291,600円（税込）です。



i-SIDE SQ-13 Type R



i-SIDE SQ-13 Type S

i-SIDE のその他の特徴

1. アルミ削り出し

スピーカーとアンプの筐体はアルミブロックからの削り出しで作られています。スピーカー内部は円筒形に、アンプ内部はパーツが置かれた部分だけを削ることによって、パネル構造を排除するコンセプトが貫かれるとともに、継ぎ目による不要輻射を防いでいます。

2. シンプルさを極めた電源部セパレート型アンプ

コンパクトで素材を活かしたアンプ部は本格的なトランスを分離した構成です。また回路は内部で左右独立した構造になっています。

3. 聴き疲れしない、リラックスできるサウンド

入力 1 系統のみの極めてシンプルな機能、生え出しのスピーカーケーブルなど、デザイン以外の部分は、音楽が奏でられたときの、あの感動を伝えるために採用された機能です。コンパクトなサイズで、音量面での最大値は大きなサイズのものより下回りますが、それだけにかえてパーソナルな音楽体験をするにはうってつけと言えるでしょう。

タイムドメインコンセプトとは

周波数領域・音量だけでなく、時間領域・波形をも深く探求するアプローチです。

従来、オーディオ製品は、主として周波数特性で評価され、大口径スピーカー等による大音量が追及される傾向にありました。しかしながら、非線形の系を介して、非定常信号を取り扱うオーディオにおいては、周波数応答の考え方だけでは不十分です。

さらに、量と質とは根本的に異なる尺度であって、質の追及には必ずしも量がともなわなくても構いません。時間領域に深く切り込み、そして徹底的に原波形の忠実再生を図ろうとするのがタイムドメインコンセプトなのです。

タイムドメイン理論とは

タイムドメイン理論は、(株)タイムドメインの由井啓之社長が提唱するオーディオ理論です。

商品の詳細は専用サイト <http://i-side.jp> をご覧ください。

ご不明な点は(株)タイムドメインラボにお問い合わせください。

電話：072-697-0150

FAX：072-697-0151

Eメール：support@timedomain-lab.co.jp